

NP-PAK ism

エヌピー・パックイズム

2011 / 11月号

vol.15

環境や資源の保護に優れた容器「紙パック」を提供する「日本紙パック株式会社」が、リサイクルのさらなる推進を願って発行する環境情報誌です。

環になる人を結ぶ 3

渡邊孝正さん

全国牛乳容器環境協議会 常務理事

自然の恵みが教えてくれる 教育と環境の問題

飲料用紙パックは、当初、牛乳用の容器として採用されました。さまざまな飲み物の容器として使われている現在も、わたしたちが「牛乳パック」と呼ぶ由来は、ここにあります。

当社も飲料用紙容器メーカーとしてその組織の一員であり、本誌でも活動報告としてとりあげてきました全国牛乳容器環境協議会(容環協)は、紙パックのリサイクル促進のため設立され、20年にわたりさまざまな活動をしてきました。今号の特集は、容環協の常務理事渡邊孝正さんに、容環協が「プラン2015」として掲げている回収率50%に向けての活動や、課題など、さまざまなお話を伺います。

渡邊孝正さん



プロフィール
渡邊孝正 (わたなべたかまさ)
1950年、福島県生まれ
早稲田大学第一法学院卒業、昭和49年明治乳業入社。
平成22年日本乳業協会環境部長、平成23年全国牛乳容器
環境協議会常務理事に就任。
現在、日本乳業協会常務理事、飲料用紙容器リサイクル
協議会専務理事と兼任。

自然の恵みが教えてくれる 教育と環境の問題

全国牛乳容器環境協議会(以下、容環協)は、紙パックのリサイクル促進のため、牛乳等紙容器の排出事業者である乳業メーカーと紙容器メーカーとで組織された業界団体です。

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)のもとづく3Rの推進団体として、飲料用紙容器リサイクル協議会があり、容環協はその中心的な役割を担っています。牛乳パックのリサイクルは、'80年代に市民運動から生まれたものですが、容環協そのものは法制定に先立つこと3年の1992年に設立され、業界としても早い段階からリサイクル促進に取り組んできましたといえます。

牛乳を飲まないなんてもつたいない

「容環協は紙パックのリサイクル促進を通して環境問題と向き合っているわけですが、まずは牛乳です。牛乳があつて、それを食卓へ運ぶための紙パックがあります。いろいろな飲み物が増えしていくなかで、身近にある新鮮で栄養価の高い牛乳を見過ごしてしまってですね。牛乳と紙パックのリサイクルを、一緒に考えていくことも大切と思っています」

リサイクル促進への具体的な活動として、容環協は全国牛乳パックの再利用を考える連絡会(全国パック連)と連携・協働し、出前授業や地域会議、リサイクル講習会などを実行してきました。これらの活動を通じ、環境教育への貢献や、着実な回収率向上

などの成果をあげてきましたが、目標であった回収率50%の達成には至っておらず、新たな行動計画である『プラン2015』を作成し、取り組みを始めているところです。

「達成に至らなかつたことの大きな理由としては、リサイクル促進への行動が先に立ち、数字についての集計の仕方と分析が足りなかつたという点が挙げられています。これは、回収率が43.5%で、更にそのなかでも、消費者から出される使用済み紙パックの回収率が33.0%(2009年時点)というのが低すぎるのはいかないかという意見を多くいただき、原因分析がなされ、明らかになつたものです。リサイクルする気持ちはあるても、「一枚だから」という理由で捨てられてしまつたり、分別されず雑がみに混じつてしまつたりするなどの実態が見えてきました。また、屋外で使用されることの多い、小型の紙パックも回収が難しい。『プラン2015』では、いかなるケースでも回収に繋げてもらえることを、行動計画の柱としています」

その始めとして、冊子『紙パックリサイクルほんとのはなし』を刊行しました。紙パックがバージンパルプと同じくらいの高い価値をもつてること、一般古紙に混じつてしまふと、その価値を活かしたリサイクルに繋がつていかないことなど、紙パックがなぜ単独で分別回収され、紙パック古紙として資源化されないといけないのか、広く理解を深めてもらえるように作ったものです。

「手開きをし、ティッシュなどで軽く拭いて家に持ち帰り、リサイクルに出す、そのように紙パックのリサイクルが“しなければならない”から、あたりまえのことになる日が来ることを目指して容環協も活動を続けていかなければなりません」



『紙パックリサイクルほんとのはなし』
左は、手開き動画が見られる携帯電話用
サイトのQRコード



容環協による刊行物
各種冊子と子ども向け啓発用DVD
『牛乳パック探検隊』

3R Reduce Reuse Recycle

容器包装に係る分別収集及び 再商品化の促進等に関する法律 (容器包装リサイクル法)

容器包装リサイクル法は、容器包装廃棄物のリサイクル制度を制定することにより、資源の有効活用を実現するための法律です。



消費者は分別して資源として排出すること、市町村はそれらを分別回収し、容器包装の排出事業者は、資源化への費用負担を義務づけられています。

但し、紙パック、缶、段ボールに関しては、リサイクルのシステムが整っていたため、現行での費用負担は課せられていません。

3Rとは、リデュース、リユース、リサイクルを表し、容環協は3Rの推進と紙パック等に係る環境保全に取組んでおり、主に牛乳パックのリサイクルの促進活動を行っています。

リサイクルすることがあたりまえになる日を
リサイクルに繋がらないもうひとつの大きな理由として紙パックのもつ特徴一丈夫で水に強いことがあります。家庭ではまだ板代わりなどに、幼稚園・保育園では子どもへの手作りおもちゃに紙パックが

「大量生産、大量消費、大量廃棄が当たり前となつて、長く営業部門で仕事されながら環境問題と向き合つてきた渡邊さんは、紙パックのリサイクルの原点は、環境というよりも教育の問題にあつたと言います。

「手開きをし、ティッシュなどで軽く拭いて家に持ち帰り、リサイクルに出す、そのように紙パックのリサイクルが“しなければならない”から、あたりまえのことになる日が来ることを目指して容環協も活動を続けていかなければなりません」

牛乳パック徹底解剖!

~紙パックのヒミツを知ろう~

紙の博物館(東京都北区王子)では、6月14日から9月4日までの期間、夏休みの企画展、夏の紙知(シ)リーズ『牛乳パック徹底解剖!』が開催されました。瓶から紙パックとなるまでの牛乳容器の歴史コーナーには、実際に使われていた初期の紙パックのほかに、当社制作の充填機のイメージモデルも展示され、小さな子どもたちにもわかりやすく説明されていました。



充填機の
イメージモデル

また、広い壁面には、全国で販売されているいろいろなメーカーの牛乳パックが飾られており、ほかにも、紙パックの特徴やリサイクルの意義などが、楽しくビジュアル化され、訪れる子どもも大人も興味深く見ていました。

リサイクル学習! 金沢泉野小学校で出前授業

10月14日、石川県金沢市立泉野小学校で全国パック連と全国牛乳容器環境協議会との共催による「牛乳パックリサイクル出前授業」が実施されました。主に小学校を対象にしたこの活動は、環境教育の支援、紙パックリサイクルの促進と学校給食用紙パックの回収率を高めることを目的としています。

今回の出前授業は、泉野小学校の4年生が対象で、紙パックリサイクルの話のあと、紙パックを使った手すきはがきづくりを体験してもらいました。子供たちには、リサイクルの大切さを実感してもらえたと思います。



リサイクル製品の展示(上)と、
手すきはがきづくりを学ぶ
子どもたち(左)



赤星たみこの Milk Break

最近、牛乳をよく飲むようになりました。年齢的に骨粗鬆症が心配で、カルシウムを一番効率よく摂取することが出来る牛乳に助けを求めるのです。私の場合、牛乳を飲むと満腹感だけでなく満足感も得られるので、お菓子のドカ食いが減るといういい効果もありました。ダイエットにも繋がりますね!

さて、その牛乳はほとんどが紙パックで売られています。紙パックの原料はバージンパルプ100%です。これは、古紙がまったく含まれていない、ということです。古紙が含まれていないということは、その紙は繊維が長く、丈夫だということです。だから再生紙を作るときのいい原料になります。一回で捨ててしまうのは本当にもったいない話ですね。

体にいい牛乳。その容器が良質な紙で出来ていて、リサイクルに出せばそれがさらに新しい紙に再生される。とてもいい循環だと思いますか? この循環、途切れさせたくないですね。



■赤星たみこ 漫画家・エッセイスト。エコや家事に関する連載や著作多数。環境問題の講演会でも活躍中。

Information

エコプロダクツ 2011

12月 15.16.17日
東京ビッグサイト 入場無料

日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2011」が今年も東京ビッグサイトで開催され、日本製紙グループ、容環協、日本印刷工業会が出展いたします。

エコプロダクツは、さまざまな環境問題に取り組む社会の動きに直に触れるこことできる催します。会場には、いろいろな体験イベントがあり、子どもから大人まで楽しみながらエコを学ぶことができます。多くの方のご来場をお待ちしております。

公式ホームページ
<http://eco-pro.com/eco2011/>



日本紙パック環境情報誌 NP-PAK ism Vol.15 2011年11月発行
編集:日本紙パック株式会社 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2
TEL(03) 6665-5555(代表) FAX(03) 3212-0605
e-mail npp-qa@np-g.com URL <http://www.nipponpaper-pak.com>